

## 「死に近き母に添寝の～」(短歌に親しむ) テスト対策練習問題

年	組	番	名前
---	---	---	----

「死に近き母に添寝のしんしんと遠田のかはづ天に聞ゆる」の短歌について、問題に答えなさい。

問1 この短歌の作者を漢字で書きなさい。

問2 この短歌の作者の代表作を次の中から選び、○で囲みなさい。

- ア：みだれ髪
- イ：竹乃里歌
- ウ：赤光
- エ：桜花伝承

問3 「そひね」を現代仮名遣いに直して書きなさい。

問4 「とほだ」を現代仮名遣いに直して書きなさい。

問5 「かはづ」を現代仮名遣いに直して書きなさい。



問6 この短歌は何句切れか答えなさい。  
(※句切れがない場合は、「句切れなし」と答えること)

問7 この歌の季節がわかる語句を歌の中から抜き出して答えなさい。

問8 この歌が詠まれた季節として正しいものを次の中から選び、○で囲みなさい。

- ア：春
- イ：夏
- ウ：秋
- エ：冬

問9 この歌で、周りの状況と作者の心情の両方を表す擬態語を、歌の中から抜き出して5文字で答えなさい。

問10 「天に聞こゆる」のはなにか。次の中から選び、○で囲みなさい。

- ア：雪の降る音
- イ：母の呼吸
- ウ：蛙の声
- エ：虫の声



問11 この短歌が表現している心情として正しいものを次の中から選び、○で囲みなさい。

ア：想定しなかった母の死を信じられない気持ち

イ：母と対比する自然の雄大さに感心する気持ち

ウ：母の様子と自然の類似性に驚く気持ち

エ：自然と対比する母の死に心を痛める気持ち

問12 「聞こゆる」で使われている技法を答えなさい。



## 「死に近き母に添寝の～」(短歌に親しむ) テスト対策練習問題(解答)

問1 斎藤茂吉

問2 ウ

【解説】アは与謝野晶子、イは正岡子規、エは馬場あき子の作品。

問3 そいね

【解説】語頭以外の歴史的仮名遣いの「は・ひ・ふ・へ・ほ」は現代仮名遣いで「わ・い・う・え・お(わ行)」になる。

問4 とおだ

【解説】語頭以外の歴史的仮名遣いの「は・ひ・ふ・へ・ほ」は現代仮名遣いで「わ・い・う・え・お(わ行)」になる。

問5 かわず

【解説】語頭以外の歴史的仮名遣いの「は・ひ・ふ・へ・ほ」は現代仮名遣いで「わ・い・う・え・お(わ行)」になる。また、歴史的仮名遣いの「ぢ・づ」は現代仮名遣いで「じ・ず」になる。

問6 句切れなし

問7 かはづ

問8 ア

【解説】「かはづ(蛙)」は、春の季語。



問9 しんしんと

問10 ウ

問11 エ

問12 連体止め

【解説】動詞「聞こゆ」の連体形である「聞こゆる」で歌を終わらせる技法を「連体止め」という。これにより、余「ラ行」の音のやわらかさの印象と、余韻（詠嘆）が残るようにしている。

